常磐毎日
発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
電(代表) 2104—2105番

平名物・味じまん
甘々郎
真根井菓子店
平市銀座 電四〇五

「今晩」　時々晴　北の風吹いたり　のち風雨、のち
「明日」　北の風吹いたり　曇つたり
「海上」風波やや高いので注意　あす次第におさまる　多少風波出る程度

どこも盛んな体育祭

おわりまで雨もさける好天気

婦人会員の余興に人気呼ぶ

日本体育祭平大会は二十一日午前九時から平一中など七会場でいっせいに開催された。また中学校は創立十五周年記念体育祭を兼ねて行なわれたもので、平一中会場では三千人参加を企画して、七会場で約二万五千人が参加して盛沢山のプログラムで国民体育デーを祝福した。

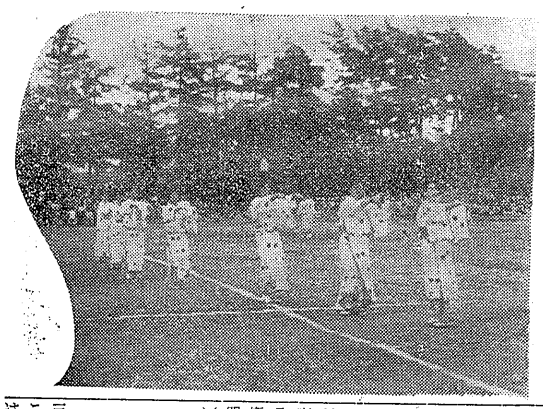
平一中会場ではそろいのハッピ姿の可愛い梅ケ香保育園児三二十人が遊戯「とんとこおどり」を踊って見せ、観衆からヤンヤの拍手をあびた。午前中は中学生の競走など二十五種目を行ない午後からは中学生全員による大行進、婦人会の民踊、職員PTAのタルころがしなどが行なわれ体操の祭典を楽しんだ。

磐城は合同　小、中、高生三千名参加でさかん

磐城市会場は二十一日午前九時から小名浜第一中学校に小、中、高生徒約三千名が集まり各種目を順調に終った。

泉中学校では二十日

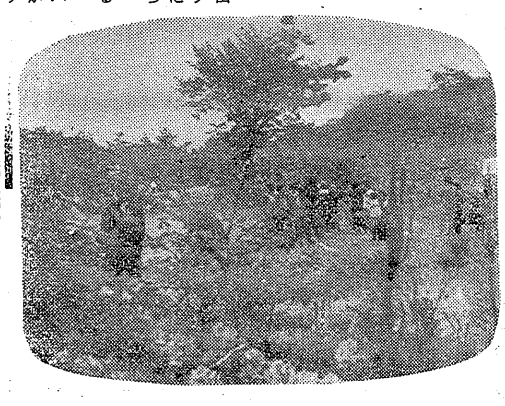
磐城市内中学校（六校）のトップ（写真は賑わう平一中会場と婦人会の手踊り）



内科
胃腸科
小児科
高木医院
高木浩雄
平市才槻小路　TEL4373

鈴蘭の園生を楽しむ

自然公園五十人山紀行記



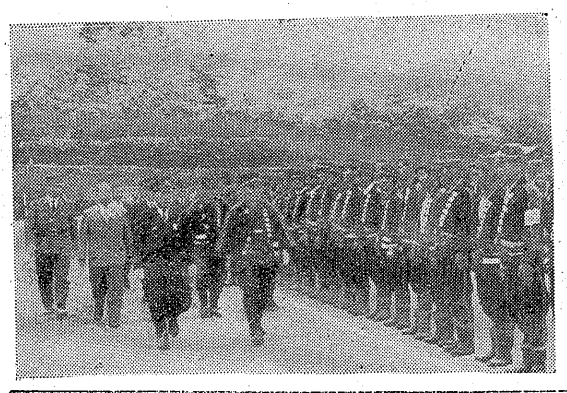
数色い菜の花、紫の菖蒲、空は青一色で絶好の一日。レクリエーション、山登りの季節。各地の観光地はレジャーブームで連日賑わいを見せ、老いも若きも夏の陽を浴びて興ずる姿は何ともいえぬのどかさである。災害続のスズランとツツジの名所、県立公園「五十人山」（標高八八三・一メートル）はきのう二十一日の第三日曜日に山開きが行なわれ、ドッと登山客がくり出し、賑わいをみせた。以下五十人山登山紀行記である。（N）

平常より早く目を覚ます。空を窓に走る雲色は、得もいわれぬのどかさである。ぼんやりとまどろめている。一時雨来るなと思いながらも計画を実行しなければ……と来合時間のご前九時に平駅前に足を運ぶ。参加者はいずれもウキウキとしている。九時二十五分平発常磐東線下り列車の人となる。

平発常磐東線下り列車の人となる。いずれもが雨…雨…雨を気にかけつつもうらめしい汽車にゆられ、各駅に列車が停車するたびに二ツ前の

小野分団長に知事賞

磐城市消防団の検閲式



磐城市消防団の春季検閲式は二十一日午前八時から県消防協会磐城支部長代理白石初太郎氏、三代市長消防長等の関係者多数列席のもとに市内パレードのち興小学校庭で三代消防長の検閲を行ないの ち功労、精勤、永年勤続者の表彰を行なった。日本消防協会からの表彰状と新調された団旗の授与を行なつてのち消防団員の次の功労者を表彰した。

▽県知事賞（永年）分団長小野安吉（二十五年）副班長小野徳太郎（二十五年）団員小泉勝義（二十七年）班長田子政一（三十一年）

▽県消防協会長賞功績分団長小野安吉

▽消防長表彰▼功績章＝第一分団　坂本徳太郎、吉田源一郎、作山満喜郎▼精勤章＝黒川辰三郎、大久保徳蔵、高木勝吉、吉田甲子、吉田正司、秋田昭一、佐藤清太郎▼功績章＝第二分団　小松武仁、馬上政一、秋山年一▼功績章＝第三分団　中野元一▼精勤章＝斉藤利一▼功績章＝第四分団　高橋亀雄▼精勤章＝第四分団　箱崎勇一郎、鈴木郷、渡辺精一▼功績章＝第五分団　矢萩守、永久保勇▼精勤章＝斉藤昭吉田辰男、佐谷虎治、上遠野三枝、椎名登▼功績章＝第六分団　遠野弘、国井四郎、中野秋夫、大友奥夫、高木康夫▼永年勤続＝第一分団　佐藤長江、第四分団　鈴木武夫

▽団